

経営比較分析表（平成28年度決算）

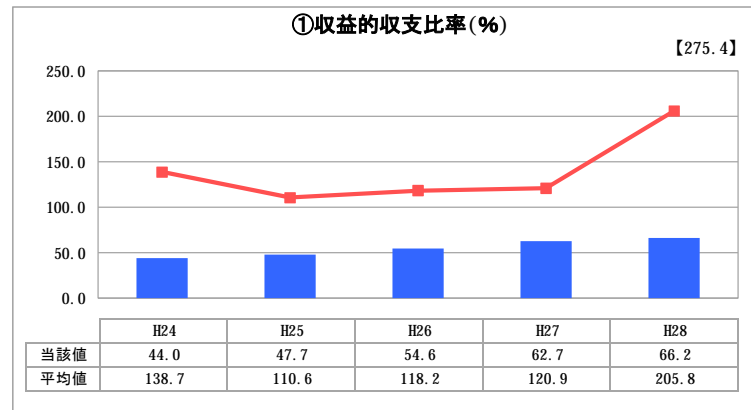
大阪府池田市 池田市立駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	地下式	32	

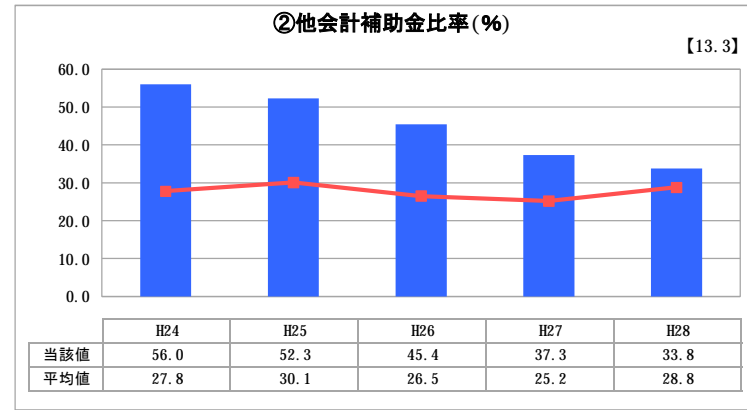
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(㎡)
商業施設	無	1,080
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
31	300	導入なし

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
【	平成28年度全国平均

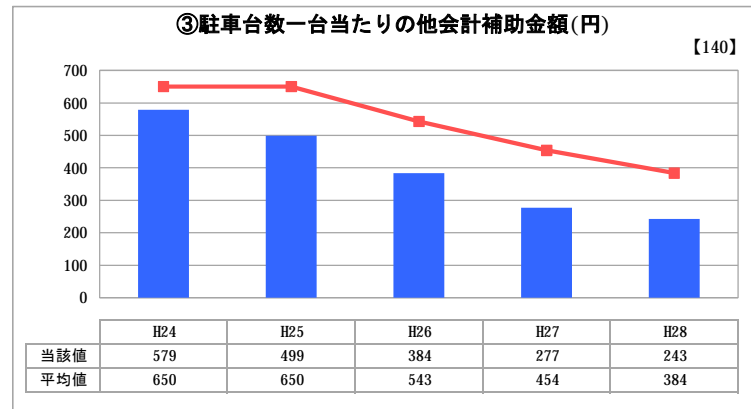
1. 収益等の状況



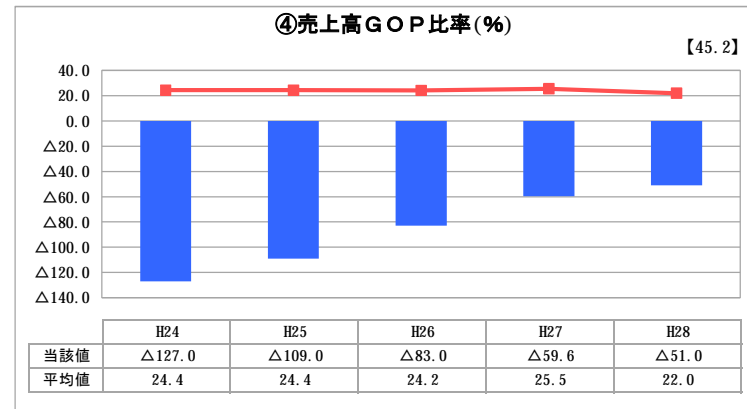
「経常損益」



「他会計補助金割合」

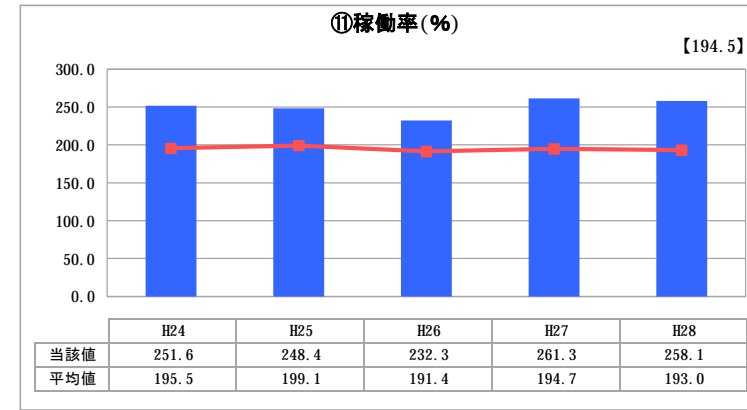


「他会計補助金額」

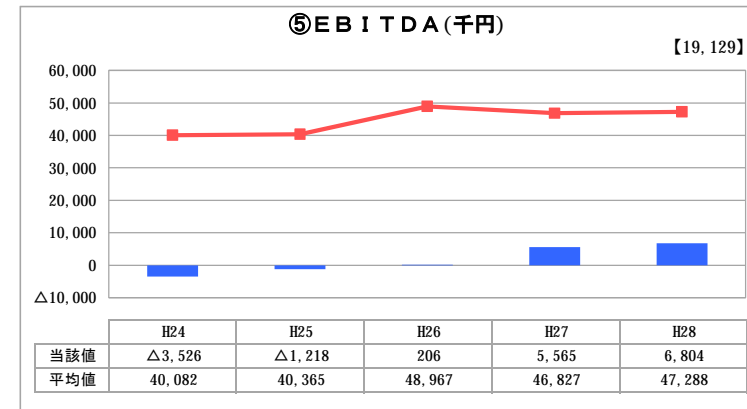


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況

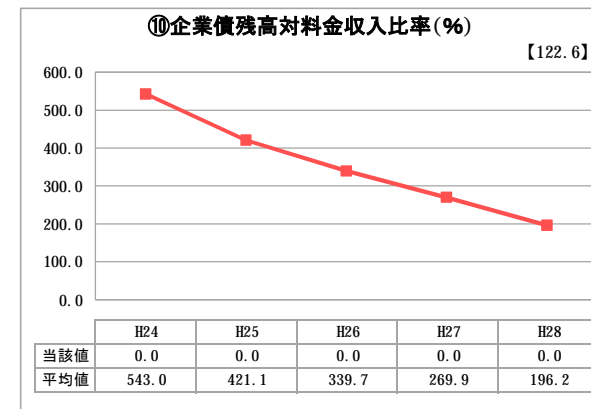


「施設全体の減価償却の状況」

⑭敷地の地価(千円)	0
⑮設備投資見込額(千円)	25,000



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について
 収益的収支比率は微増しているが、100%を切っている。また、他のグラフからも収益状況は、全国平均を下回っている。
 要因として、管理台数、売上げが少ない中、設備の老朽化も進み委託管理料が掛かっている点があげられる。
 ④が負数となる要因は、使用料である営業利益が営業費用である管理費を下回っていることが考えられる。
 ⑤については、平成24年度、25年度では、消防設備の保守点検費用が、経費として掛かり、使用料を繰入金を上回っていたため負数となっていたことが要因である。

2. 資産等の状況について
 建設後の経過年数から、設備の修繕が続き、平成30年度は、車路管理センサー工事と出口精算機の更新を実施。
 今後、雨水排水工事、掲示物更新、防犯カメラ設置、天井材撤去工事が控えている。順次修繕を進める予定。

3. 利用の状況について
 利用状況から、駐車場の稼働率は全国平均より毎年、上回っている。
 要因として、立地条件から短時間での買い物客利用も多いことがあげられる。

全体総括
 商業施設へ直結し、駅へのアクセスもよいことが施設の稼働率を向上させている。
 今後は、更なる回転率の向上のため、料金改定を行い、上限額を近隣駐車場に合わせることで収支改善に努める。具体的には、平成30年7月より昼間の使用料を上限額900円から1,200円に上げて、20分100円を1時間300円に料金改定する予定。
 また、指定管理導入等の管理方法も検討することで、経費削減による経営改善に努める。
 収益状況の右肩上がりを維持し、収益的収支比率100%を目標とする。
 また、平成32年度を目途に、将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を策定予定。